



ゴム事業

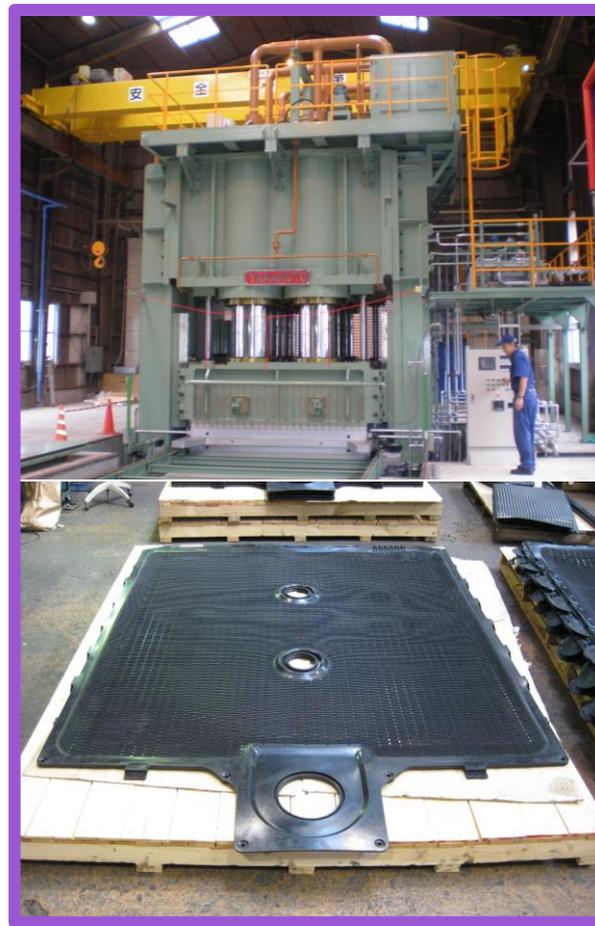
顧客の「大切」を守る社会の守護者

ゴム事業（顧客の「大切」を守る社会の守護者）

ゴムライニング



プレス成型



概況：

- ▶ 国内市場の低調が続き、減収減益が続く

新型コロナウイルス感染拡大における影響：

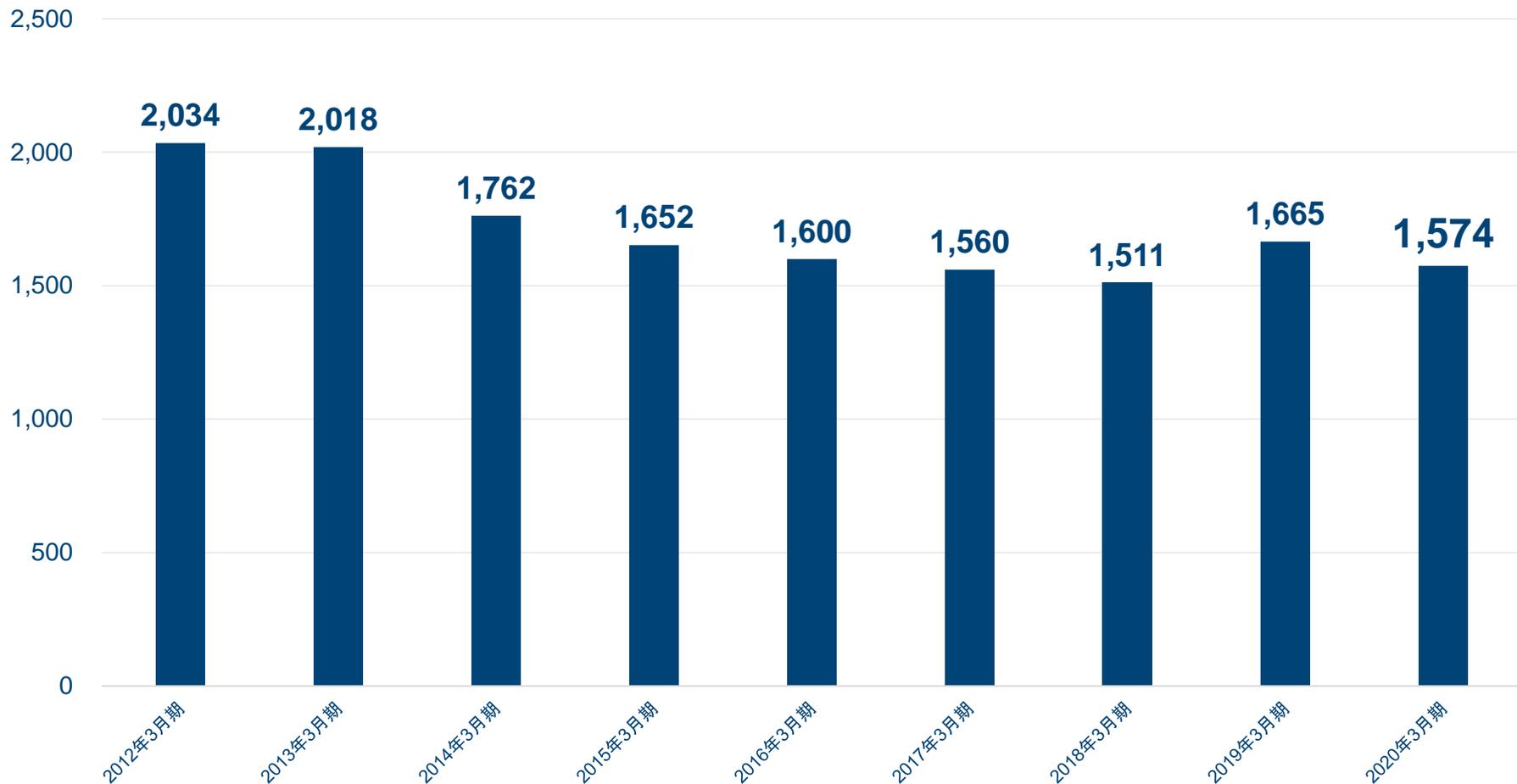
- ▶ 現時点においては影響はないが、今後の受注には懸念
- ▶ 重点事業であるライニング事業で競合が廃業を決定

http://www.daiki-rubber.co.jp/info/information_200326d.pdf

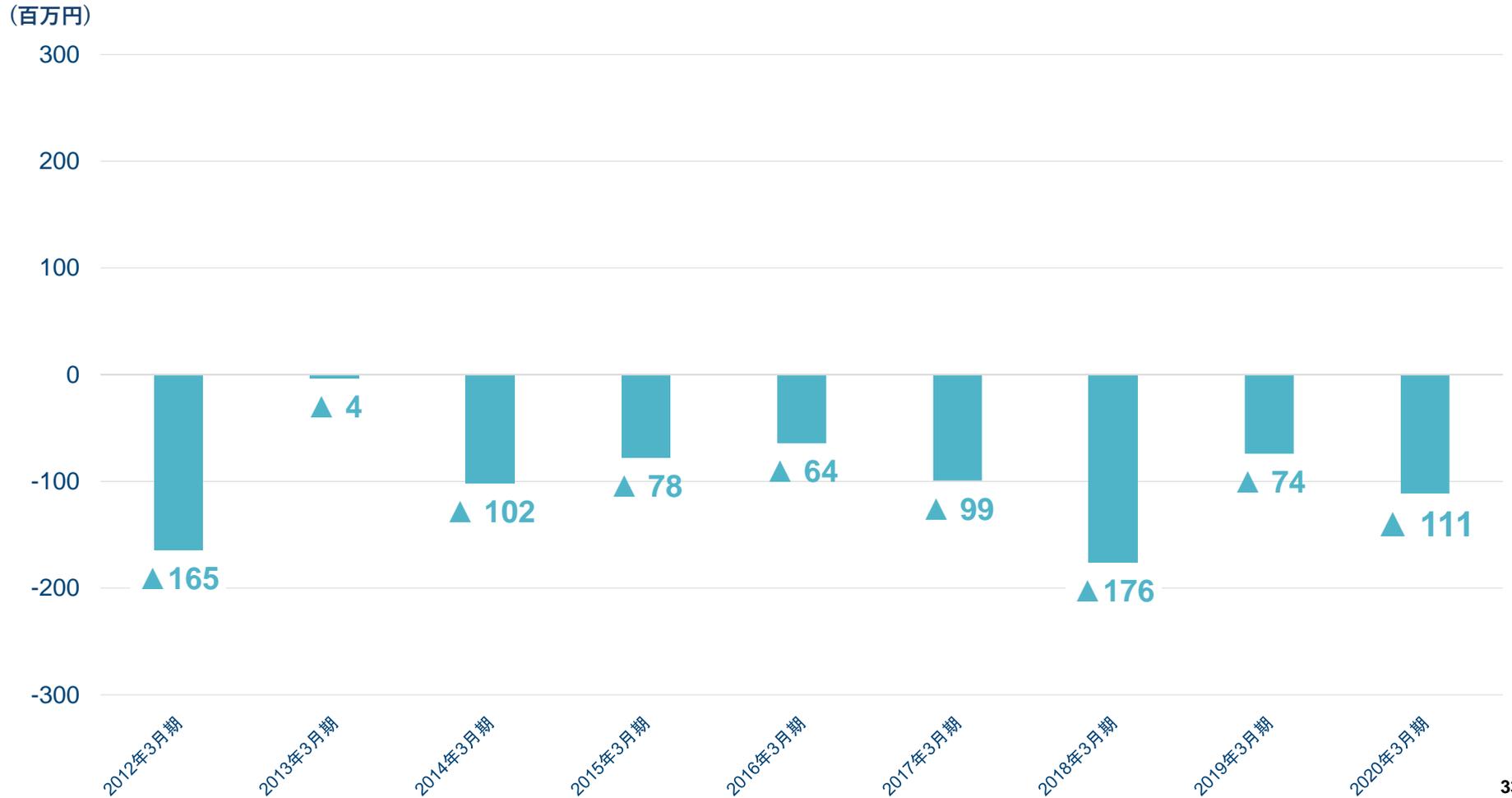
- ▶ 市場取り込みと集中で今後の大幅な売上・利益向上を狙う

売上（ゴム事業）

(百万円)



セグメント利益（ゴム事業）



日本の主なライニング事業者

大機ゴム工業株式会社
(2021年3月末廃業予定)

昭和ゴム株式会社

王子ゴム化成株式会社

極東ゴム株式会社

ゴムタイムス プラタイムス
THE GOMUTIMES DIGITAL THE PLASTICS TIMES DIGITAL

HOME | ニュース一覧 | プラスチック | ポリマーTECH | タイヤ

TOP > 大機ゴム工業, 日立造船 > 大機ゴム工業が解散へ 日立造船 柏工場売却で

大機ゴム工業が解散へ 日立造船 柏工場売却で

2020年04月03日

ツイート Like Share

日立造船は3月26日、100%子会社である大機ゴム工業を来年3月までに解散すると発表した。

日立造船は、千葉県柏市にある柏工場の売却を3月26日付で決定し、3月30日付で柏工場をSMFLみらいパートナーズに売却する。この売却に伴い、柏工場での生産活動は今年12月末日で終了することとなる。同時に、柏工場内にある大機ゴム工業は、同社唯一の生産拠点を失うこととなり、日立造船と大機ゴム工業は、大機ゴム工業が新たな生産拠点を確保して事業を継続することは非常に困難であるという認識の下、来年3月末日までに解散するという結論に達した。

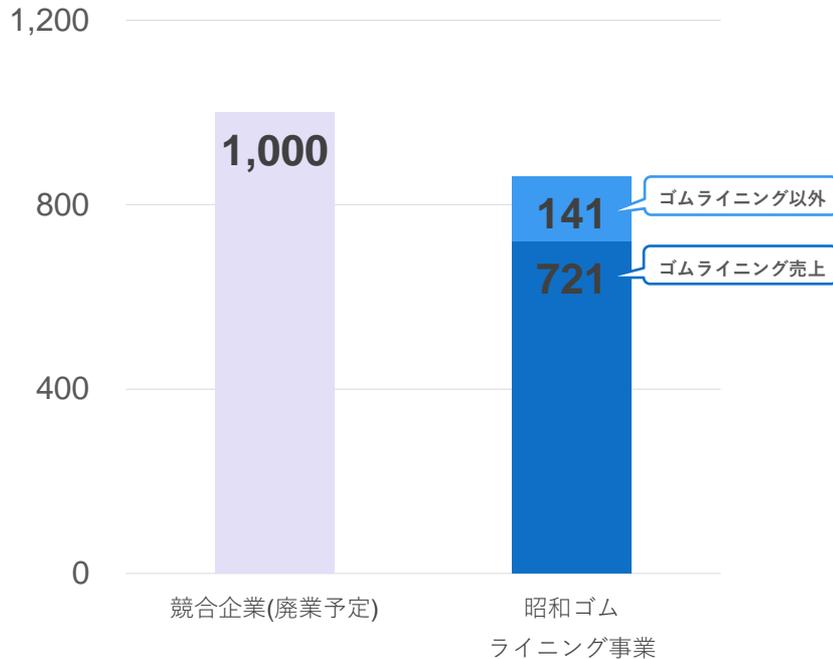
なお、取引先に対しては、大機ゴム工業に注文済みの案件の製作については個別に相談することとし、納入製品の保証期間は変更せず、大機ゴム工業解散後は日立造船が対応することとしている。アフターサービスについても、日立造船のサービス部門が可能な限り要望に応じる。

関連キーワード: 大機ゴム工業・日立造船

ゴムライニング事業売上・利益見込

廃業予定の競合との事業規模 (2020年3月期)

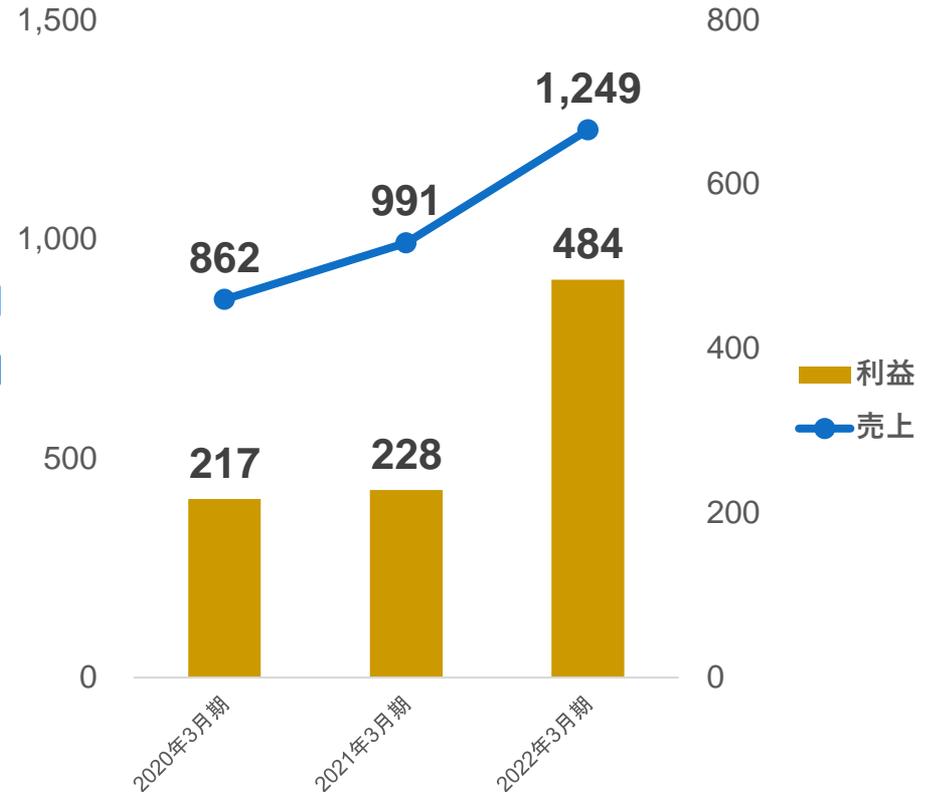
(百万円)



※当社による推定

部門売上・利益推移 (昭和ゴム ライニング事業)

(百万円)



- ▶ 景気後退影響懸念
- ▶ 収益力のあるゴムライニングでの競合撤退による売上増を見込む
- ▶ **今後はゴムライニングに経営資源を集中し、
売上増と利益改善を目指す**